# 事務事業名 **健康教育(個別)事業** 整理番号 **21203-010** 所 管 健康推進課 健康推進スタッフ

### 事務事業の位置付け

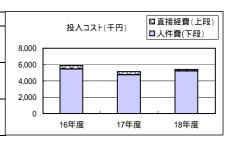
期間	平成	13年度 ~	平成:	年度	根拠法令	・要綱等	老人保健法		
基本計画に	こおけ	基本政策	2-1	心身の健	建康づくり			関連	
る位置付	けけ	政策	2-1-2	保健衛生	Eの充実			政策	

### 事務事業の内容

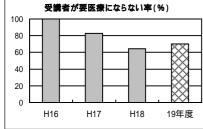
	疾病の特性や個人の生活習慣等を具体的に把握し、継続的な健康教育・健康相談を実施することで、生活習慣病の 発症や悪化を抑制し、健康づくりを推進する。
対 象 (誰・何を)	40歳以上70歳未満の者で老人保健法による基本健康診査を受診し、高脂血症や糖尿病に関して「要指導」と判定され、治療を行っていない者。
手 段 (どのようなや り方で)	個々の身体状況や生活スタイルに合わせ、6か月の間に検査、計測、相談、指導を保健師や栄養士が個別的に相談指導を行う。
成 果 (どのような状 態にしたいか)	受講者が要医療(治療)に至らず、健康管理を自分で行うことができるようになることで、医療費の削減が図られる。
事務事業の背 景・住民の意向	市民の健康指向は強くなっているが、健康情報の氾濫により、正しい知識や個別性のある改善策の提供は、不十分な状況にある。
見直し改善の 経過	集団で生活習慣改善の教室を行っているが、生活習慣は多様で個別的に相談、指導を一定期間実施することにより、生活習慣の改善と自己管理能力を高めることができる。

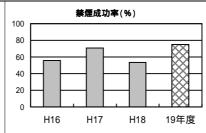
### 事務事業の実績・投入コスト

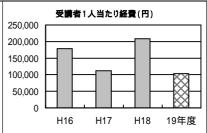
年度	事務事業実績
平成16年度	高血圧 6人、高脂血症 6人、耐糖能 12人、喫煙者 9人 個別7回 + レター1回 + 血液検査2回 開催教室数 4 教室
平成17年度	高脂血症 14人、耐糖能 15人、喫煙者 17人 開催教室数 3 教室
平成18年度	高血圧 5人、高脂血症 2人、耐糖能 4人、喫煙者 15人 開催教室数 4 教室



### 評価指標







#### 事務事業の評価

観点別・一次	評価(担	当部署の評価)	コメント	
	必要性		個別教育は、集団に比較し効率性は悪いが、その分要指導者に対しております。	
観点別評価	有効性		対して指導効果が出やすい。今後は、要指導者に対して予防教  室へいかに参加させるかが懸案である。	
	効率性			今後の方向性
一次評価	В			継続
二次評価(行	<b>丁政評価</b>	委員会の評価)	コメント	今後の方向性
二次評価	С		参加しやすい事業内容と環境整備を検討されたい。	手段改善

## 改革プラン

平成19年度か らの対応	集団健康教育受講修了者に対しても個別での相談・指導を実施し、生活習慣改善方法を確実に身に付けられるよう な支援を行う。
平成20年度以 降の対応	平成20年度から制度改革(老人保健法が廃止され特定健診・特定保健指導がスタート)より事業見直しが予測されるが、生活習慣病予防として効果的な事業であるため、継続できるよう検討していく。
改革により予 想される成果	教室受講者が生活習慣病をはじめとする疾病の発病や悪化を予防し、医療費の削減につながる。